

AI設計ウイルス「世界初のヒト投与」の真相：確認された事実と残された課題

米スタートアップがAI設計ファージを抗菌薬耐性菌患者へ緊急アクセス制度（コンパッション・ユース）で投与したと発表した。
これはゲノムAIの臨床応用における重要な歩みである一方、治療結果や安全性などの根幹データは未公表のままである。

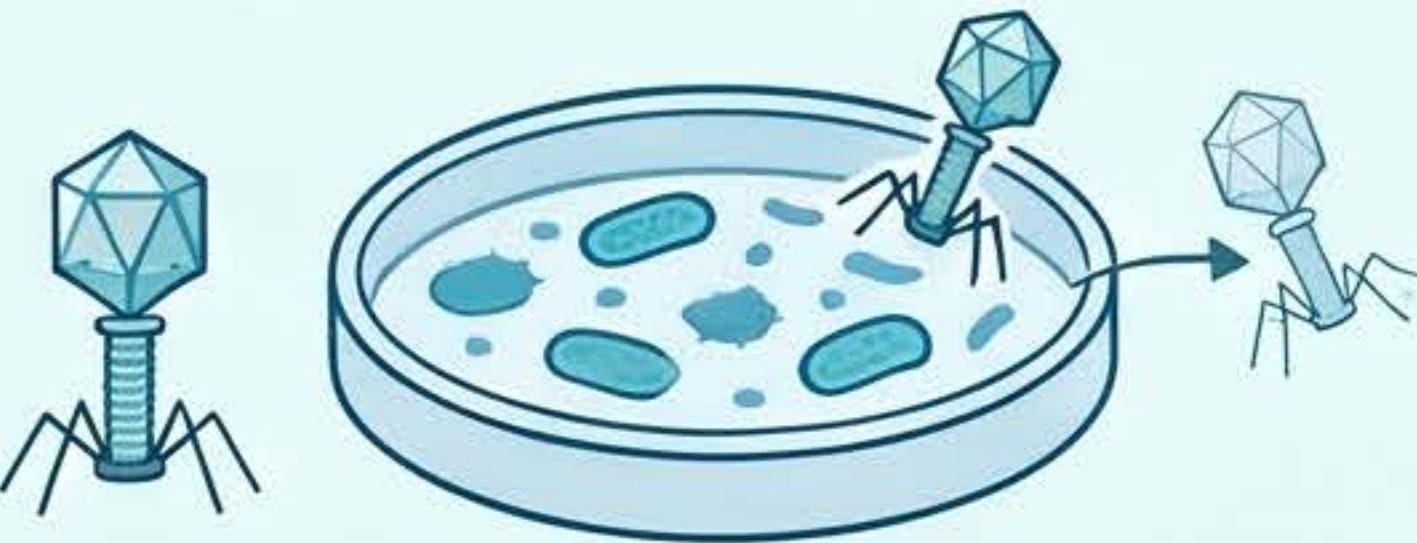
確認された事実（投与と技術の枠組み）

未承認治療としての特例投与

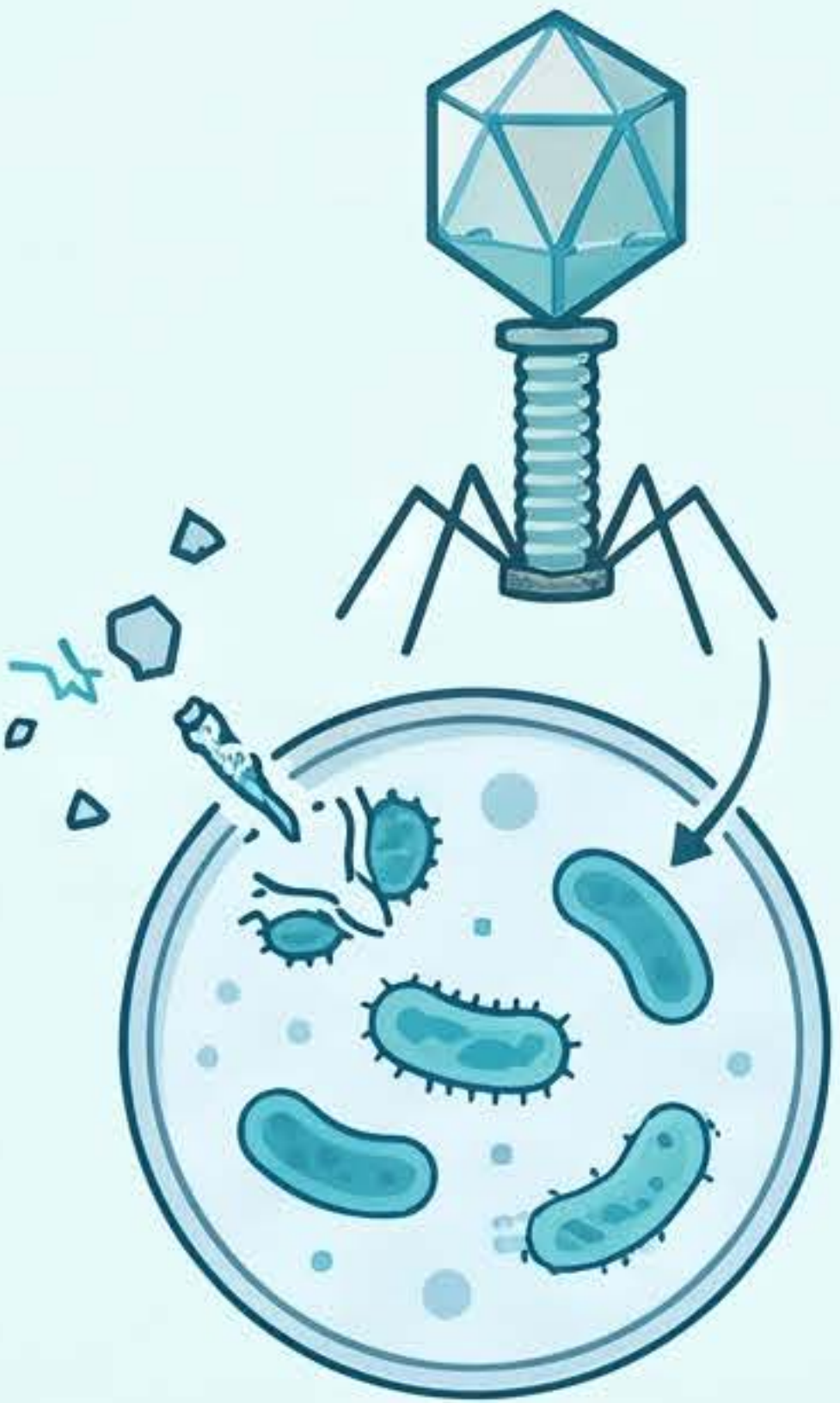


既存薬が効かない耐性菌患者1名に対し、特別アクセス制度下で投与された。

試験管内（in vitro）での殺菌活性



Omnii-1モデルで設計されたファージ変異体カクテルが患者由来菌を排除した。



Omnii-1モデル設計ファージ

先行Science論文との明確な違い



先行Science論文



今回のヒト投与製剤

論文はAI全ゲノム生成の基礎実験であり、今回のヒト投与製剤とは異なる。

未確認・検証が必要な懸念点

臨床的効果・安全性のデータ不在

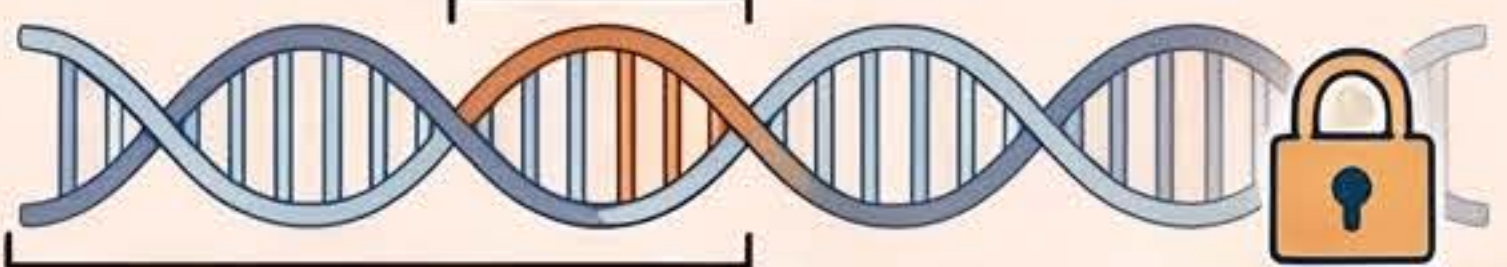


転帰	未公表
投与量	未公表
副作用	未公表
生存率	未公表

患者の転帰、投与量、副作用、生存率は一切公表されておらず効果は未証明。

「完全なゼロからのAI設計」ではない可能性

AI設計？（受容体結合部等）



従来型改変？（全ゲノム非公表）**範囲非公表**

今回の製剤が全ゲノムAI生成か特定領域（受容体結合部等）の改変かは非公表。

査読論文および第三者検証の未実施



論文未発表



第三者検証未確立

論文未発表の企業自己申告であり、「世界初」の客観的認定や再現性は未確立。

科学的検証ステータスの対比

主張・論点	現在の証拠	科学的評価
AI設計ファージのヒト投与	企業発表・大手報道	✓ 確認度：高（ただし企業自己申告）
人体での治療効果・安全性	非公表	? 未確認（データ存在せず）
全ゲノムの完全AI一から設計	範囲非公表	? 未確認（節分改変カクテルの可能性）